

平成三十一年度入学試験問題

国

語

(国語総合・現代文
B・古典B)

三問

平成三十一年二月二十五日

自 十二時三十分

至 十四時三十分

答案作成上の注意

- 一 この問題冊子には、国語総合、現代文B及び古典Bの問題があります。総ページは十四ページです。ただし、第七ページ、第十一ページは下書き用です。
- 二 解答用紙は一枚(表裏の二ページ)です。解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
- 三 受験番号は、解答用紙の所定の箇所に、必ず記入しなさい。
- 四 配付した解答用紙は、持ち出してはいけません。
- 五 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

第一問 次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

著作権保護の観点から、公開していません。

著作権保護の観点から、公開していません。

著作権保護の観点から、公開していません。

(西^{にし}部^べ邁^{まい}『保守の真髓』による)

問一 二重傍線部 a s e のカタカナを漢字で書け。

問二 傍線部①に「学校に(徳義瓦解の)責任を負わせるのは見当違いと思われるのではない」とある。なぜ筆者はこう述べるのか。その理由を端的に示す部分を、学校のありように注目して、文章中から二十字以内で抜き出せ(句読点を含まない)。

問三 傍線部②に「問題がある」とある。なぜ「問題がある」と筆者は述べるのか。それを説明した次の文の()の中に入る適切な部分を、文章中から十五字以内で抜き出せ(句読点を含まない)。

教育には) 側面があるから。

問四 傍線部③に「道德の系譜学」とある。

1 ここでいう「道德」とはどういうことか。文章中から十字以内で抜き出せ(句読点を含まない)。

2 ここでいう「道德の系譜学」とはどういう学問のことか。1で答えた語句も使って四十字以内で説明せよ(句読点を含まない)。

問五 傍線部④に「知育や体育もまた徳育と無関係ではおれないのである」とある。なぜ無関係ではおれないのか。説明せよ。

問六 傍線部⑤に「教育は不可能であるが、されど、教育なしには人間は生きる道を見つけられない」とある。これはどういうことか。二つの「教育」の違いを明確にしなが、八十字以内で説明せよ。

問七 この文章では、のように段落の冒頭に逆接の接続語が多用されている。このような論の展開の特徴について、
八十字以内で説明せよ。

下書き用 (解答は、別紙の解答用紙に書くこと。ここに書いたものは、採点の対象にならない。)

	15									10								5	
5																			
10																			
15																			
20																			
25																			
30																			

第二問 次の文章は、本居宣長もとわのりながが今の奈良県古野地方を旅した時の紀行文『菅笠日記』の一節である。これを読んで、後の問いに答えよ。

著作権保護の観点から、公開していません。

著作権保護の観点から、公開していません。

注 初瀬・多武峰……ともに今の奈良県桜井市にある地名。

上市……今の奈良県吉野町にある地名。桜の名所吉野山への登山ルートの一つ。
渡し守は「はや」とも言はねど……『伊勢物語』第九段にある、隅田川の渡し守が「はや舟に乗れ。日も暮れぬ」とせきたてた記事による。

紀の国……今の和歌山県と三重県の一部の旧国名。

中に落つる吉野の川……「流れては妹背の山の中に落つる吉野の川のよしや世の中」(『古今和歌集』恋五・よみ人しらず)を引く。

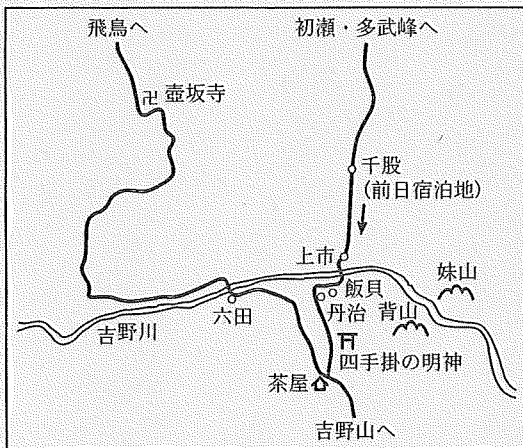
飯貝・丹治……ともに吉野にある地名。上市から吉野川を挟んで対岸にある。

四手掛の明神……吉野山の入口あたりにある神社。幣掛神社とも。

吉野山口神社……平安時代の『延喜式』に載る吉野の古い神社。

六田……上市とは別ルートの吉野山への登山口にある地名。

我が国人……伊勢の国の人。作者本居宣長は伊勢松坂(今の三重県松阪市)の人。



問一 二重傍線部①②③④の「なる」についての文法的な説明を、次のア～エの中から一つずつ選んで記号で答えよ。

ア 断定の助動詞 イ 伝聞・推定の助動詞 ウ 所在を表す助動詞 エ 形容動詞の活用語尾

問二 波線部Ⅰに「世の好き者のしわざなるべし」とあり、波線部Ⅱに「誰てふ鳥辭の者かさる卑しげなる名はつけけん」とある。これについて、

1 I・IIそれぞれが何に対する批評であるかを簡潔に記せ。

2 i「好き者」・ii「鳥辭の者」をそれぞれ現代語訳せよ。

3 I・IIの評価の違いは何によっているのか。五十文字以内で説明せよ。

問三 傍線部A「さ言ふばかりの社とも見えず」を、指示語「さ」の指す内容を明らかにして現代語訳せよ。

問四 傍線部Bに「ものすれば」とある。これを、この場合の動詞「ものす」の意味に該当する動詞に置き換えよ。

問五 傍線部Cに「まだしからん」とある。これについて、

1 現代語訳せよ。

2 これと対になる表現を一箇所、本文中から十字以内で抜き出せ。

問六 作者は、吉野山の桜の盛りの時期の予測について、どのような結論を得たのか。本文に即して百字以内で説明せよ。

下書き用 (解答は、別紙の解答用紙に書くこと。ここに書いたものは、採点の対象にならない。)

5																			
10																			
15																			
20																			
25																			
30																			

第三問 次の文章は、モンゴル族が中国を支配していた元王朝の時代、亡くなった主人の孤児（「孤」）を苦難から救った使用人

（「奴」）の物語である。よく読んで後の問いに答えよ。なお設問の都合上、返り点・送り仮名を省略した部分がある。

著作権保護の観点から、公開していません。

著作権保護の観点から、公開していません。

〔南村輟耕録〕による

注 孤…孤児。 孤之叔…孤児の叔父。 贖産…財産。 姪…兄弟の子ども。 弟…従弟。 ここでは「孤」を指す。

達魯花赤…元王朝が支配地域の行政・軍事を監視するために配備した官職。 馬馬火…人名。 受署…赴任する。

誣服…無実なのに罪を犯したと証言させる。 鞠…取り調べる。 鍛錬…拷問する。 京師…都。

達宦…身分の高い人物。 減死…減刑されて死罪を免れる。 叩蹕陳告…朝廷に陳情する。 罷去…罷免される。

復官…旧の官職に復帰する。 獄訟道里費…裁判などにかかった費用。 鉅…巨に同じ。

算償…賠償しようとする。 主翁之蔭…亡くなった元の主人のおかげ。

問一 波線部 a「且」・ b「与」・ c「凡」・ d「蓋」・ e「耳」は、それぞれ本文中ではどのように読むか。その読み方を送り仮名も含めてすべて平仮名で記せ（現代仮名づかいでもよい）。

問二 二重傍線部 A・B の「之」が指し示す人物を、次のア～オの中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えよ。

- ア 劉信甫 イ 曹氏 ウ 孤 エ 孤之叔 オ 郡守

問三 傍線部①「某家資産未嘗分析、今悉為姪所抛」を「分析」「抛」の意味に注意して、平易な日本語に訳せ。

問四 傍線部②「竟欲置孤法、并得以中守」は、「とうとう孤児を法の下に裁き、同時に郡守を陥れようとした」という意味である。その場合、本文にはどのように返り点を施せばよいか。解答欄の本文に返り点を記せ（送りがなは不要）。

問五 「孤之叔」「叔之子」「達魯花赤」は、なぜ「孤」を罪に陥れようとしたのか。彼らが「孤」を罪に陥れようとした理由をそれぞれ簡潔に説明せよ。

問六 傍線部③「慎毋出」という劉信甫の発言の意図を説明したものとして最も適切なものを、次のア～オの中から一つ選び、記号で答えよ。

- ア 高貴な身分の都人の信頼を得て孤児の無実の罪を晴らすため。
- イ 事件の真相を知る孤児の身を敵対する者の攻撃から守るため。
- ウ 適切な時期が到来するのを待って孤児の存在を公表するため。
- エ 事件が解決するまで孤児に罪や害が及ばないようにするため。
- オ 遺産相続をめぐる不適切な対応の責任を孤児にとらせるため。

問七 傍線部④「分内事」の意味の説明として最も適切なものを、次のア～オの中から一つ選び、記号で答えよ。

- ア 役割上の責務
- イ 倫理観の問題
- ウ 家庭内の事件
- エ 非常時の判断
- オ 個人的な事情

問八 劉信甫はどのようにして「孤」を苦難から救い、事件解決に導いたのか。簡潔に説明せよ。

